

2010年1月1日～2017年9月30日までに水痘または帯状 疱疹と診断された方へ

—「水痘・帯状疱疹の発生動向と合併症・全身状態・予後の解析」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学皮膚科学 山本 剛伸
研究分担者 川崎医科大学皮膚科学 青山 裕美
川崎医科大学皮膚科学 山本 佳子
川崎医科大学皮膚科学 村上 真依

1. 研究の概要

水痘(みずぼうそう)、帯状疱疹(ヘルペスの一種)は、水痘・帯状疱疹ウイルス(VZV)による感染症です。最近のVZV感染症の傾向として、水痘は減少していますが、帯状疱疹は増加しています。この原因は不明です。今回の研究では、水痘または帯状疱疹と診断された方を対象とし、病気の発生頻度、異常検査データ、合併症に対する治療、経過について診療録を用いて後ろ向きに解析を行うものです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日～2017年9月30日の間に川崎医科大学附属病院または川崎医科大学総合医療センター(旧 川崎医科大学附属川崎病院)を受診し、水痘・帯状疱疹と診断された方を研究対象とします。

対象者数：川崎医科大学附属病院 約500名、川崎医科大学総合医療センター 約300名

研究期間

2017年11月13日～2022年3月31日

研究方法

2010年1月1日～2017年9月30日の間に川崎医科大学附属病院または川崎医科大学総合医療センター(旧 川崎医科大学附属川崎病院)を受診し、水痘・帯状疱疹と診断された方で、研究者が診療情報をもとに血液検査、合併症、治療経過のデータを選び、水痘・帯状疱疹の発生動向と合併症・全身状態・経過に関する分析を行い、水痘・帯状疱疹の出現する仕

組みについて調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、副作用の発生状況、カルテ番号、血液検査データ

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学皮膚科学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2018年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 皮膚科学 山本 剛伸

電話: 086-462-1111 内線 25505 (平日: 8時30分~17時00分)

ファックス: 086-462-7897

または

川崎医科大学総合医療センター 皮膚科 山本 剛伸

電話: 086-225-2111 内線 85321 (平日: 8時30分~17時00分)

ファックス: 086-232-8343

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。